

第 13 回ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・岡山 会議次第

と き 平成 25 年 1 月 16 日 (水) 14 : 00 ~
ところ 長島愛生園 愛生会館

1 開会

2 会長あいさつ

3 将来構想の進捗状況について

4 今後の進め方について

5 その他

次回開催 日 時

場 所

第13回ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・岡山 出席者名簿

25.1.16

選 出 区 分 等	氏 名	備 考	出欠
瀬戸内市長	武 久 顕 也	会 長	出
邑久光明園入所者自治会	屋 猛 司	副会長	出
邑久光明園入所者自治会	山 本 英 郎		出
長島愛生園入所者自治会	中 尾 伸 治	副会長	出
長島愛生園入所者自治会	谷 本 静 夫		出
邑久光明園	武 部 美 代 志	監 事	出
岡山県医療労働組合連合会	川 谷 宗 夫		出
全日本国立医療労働組合中国地方協議会	相 良 只 夫		出
全日本国立医療労働組合長島支部	上 山 輝 夫		出
全日本国立医療労働組合光明園支部	小 田 晃 司		出
岡山県医療ソーシャルワーカー協会	平 尾 容 子		出
岡山県医療ソーシャルワーカー協会	内 藤 絵 里		出
弁護士 (ハンセンボランティア ゆいの会)	近 藤 剛		出
弁護士	平 井 昭 夫		欠
弁護士	井 上 雅 雄		出
瀬戸内市議会議員	小 野 田 光		出
瀬戸内市議会議員	小 谷 和 志		出
岡山県保健福祉部健康推進課	芦 田 英 厚		出
岡山県保健福祉部健康推進課	蜂 谷 裕 子		出
瀬戸内市総合政策部	高 原 家 直		欠
瀬戸内市保健福祉部	土 井 和 子		出
瀬戸内市保健福祉部 いきいき長寿課	内 田 紀 久 子		出

オブザーバー

邑久光明園	畑 野 研 太 郎		出
長島愛生園	高 木 耕 司		出
全日本国立医療労働組合長島支部	大 住 健 夫		出
瀬戸内市保健福祉部 いきいき長寿課	景 山 千 春		欠

事務局

瀬戸内市市民生活部 部長	古 武 稔	事務局長	出
瀬戸内市市民生活部 市民課	大 倉 和 子	会 計	出
瀬戸内市市民生活部 市民課	松 本 孝 之		出

長島愛生園 将来構想進捗状況表

H25.1.16

No.	具体的な施策	関係団体	取り組み状況	今後の方針
1	医療・看護・介護を一体的に兼ね備えた施設の整備	長島愛生園	治療棟・病棟及びセンター地区に近い一般舎の望潮台地区の改修を行い、一般舎を順次集約し生活の利便性を向上させる予定。	平成23年度において予算が配付され次第改修し、順次集約予定。
			園・自治会・入所者で平成23年11月から協議等を行い、不自由者棟地区(日出地区)で医療・看護・介護が完結出来る、センター集約計画及び施設整備計画について合意が得られた。	今後は予算獲得等に向けて行動を行う。 9月14日に長期整備計画について本省ヒアリング実施。
		医労連	必要な人員(欠員補充)配置を厚労省へ要請。 国の公務員定員削減からの除外を要求。 厚労省へ人員要求(2/1厚労省交渉にて、賃金職員の定員化要求⇒努力するとの回答、賃金職員日給単価改善)	2012年4月17日～18日、国会議員への要請を予定 2012年4月17日～18日、国会議員への要請を予定
2	入院・治療、生きがいの創出ができる体制の確保	長島愛生園 ゆいの会	病棟入院患者の生きがい創出のために、屋上防水整備工事に併せて南治療棟に屋上庭園を整備する予定。 ①入所者の方からの要望により、外出付添い支援等を行っている。 ②愛生園病棟において、毎週木曜日午後2時～4時、「ふれあいボランティア」を実施している。会員2名がその時間に、コーヒーなどを準備して、入所者とお話相手をさせていただいている。また、③6月から傾聴ボランティアを実施し、個人史の作成などの支援を行っている。	平成24年度予算要求済み。
3	明るく健やかな健康福祉社会の確立			
4	地域福祉の向上に貢献する施設	医労連	外来は地域に開放されているが、地域に浸透していないので広報等で周知するよう要請。 通所し易いよう地域巡回(医療)バス等を検討してもらう。	施設、自治体へ要望する。
5	学校への啓発	岡山県	学校教育などを通して、研修・教育の場として活用している。 ・語り部講演会の開催(H22:11校→H23:18校→H24:10校(予定)) ・地域交流事業への補助(H22:13件→H23:13件→H24:20件(予定)) ・社会復帰推進事業実施(瀬戸内市校長会で事業内容を説明した。) ・県要綱を改正 ハンセン病療養所全体での社会復帰を推進するため、地元(瀬戸内市)の学校または小中学生を含む団体がハンセン病療養所を訪問して行う、入所者との交流活動 限度額100千円/1校または団体	引き続き、積極的に対応していく。
		長島愛生園	岡山県は年間計画で、10校～12校の県立学校へ入所者が出向き啓発のための講演会を実施するよう計画・実施している。 瀬戸内市へも学校からの個人招聘に応じて、ハンセン病の啓発講演を行っている。 瀬戸内市と岡山県教育旅行誘致推進協議会では「瀬戸内で人権学習を」のPR活動で修学旅行団体の誘致活動を開始予定。	学校へ出向いての啓発については、今後の高齢化等を考慮すれば限界があり、学校から長島愛生園への訪問による啓発学習へとシフトする必要がある。 また、「瀬戸内で人権学習を」に対応するためにも受け入れ体制の充実のため、学芸員の増員等も要請する。
6	社会への啓発	岡山県	県HP、リーフレット等による正しい知識の普及啓発を実施している。6月18日～29日県庁1階県民室において、パネル展開催、語り部講演会実施	引き続き、積極的に対応していく。
		瀬戸内市 (総務・市民・社教)	6月22日の「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」を含む一週間、ハンセン病に関するパネルを市役所等へ展示している。 人権啓発行事の際、ハンセン病に関するパンフ等を配布。(市民)職員に対して、人権啓発研修としてハンセン病に関する研修を実施。(総務・市民) 平成20年からハンセン病について正しい理解を深め、人権尊重の人づくりを図る長島健康ウォークを開催。第1回目は両園、以後光明園と愛生園を隔年で実施。 平成20年から長島健康ウォーク開催チラシ裏面にハンセン病に関する情報を掲載し、正しい理解を深めるための普及・啓発を実施。(社教)	今後も継続して行い、市民に正しい知識を深めてもらう。(市民) 職員の人権啓発研修は、毎年テーマを変えているので、何年かごとにハンセン病について取り上げる予定。(総務・市民) 5回目以降の実施について、事業の検証を行い再検討する。 機会がある毎に普及・啓発を図る。(社教)
6	社会への啓発	長島愛生園	・岡山県教育委員会の人権教育課では新採用職員研修の一環として啓発研修を取り入れ、当園でも研修を受け入れている。 また、市民のつどい等の各種団体の受け入れや講演活動も行っている。 ・平成24年10月27日「ハンセン病問題のこらからを考える国際シンポジウム」を海外からのパネリスト6人を招き、約200名の参加者を得て開催した。 ・平成24年9月18日(火)「カフェin長島愛生園」を開催。 入所者の方々と一般の方々がお茶を飲みながら交流し、がらん・非がらんの方やその家族で様々な不安や悩みを抱える人たちと「対話」する事で、「生きている意味」等を互いに見いだしていくことが目標。	「学校への啓発活動」と同様、園内での受け入れ体制の充実のため、学芸員の増員等も要請する。 ・機会があれば、国際シンポジウムでは無くても、啓発事業として開催したい。 ・10月以降、毎月最終火曜日(13:30～15:10)に「日出会館」で園行事として開催。

長島愛生園 将来構想進捗状況表

H25.1.16

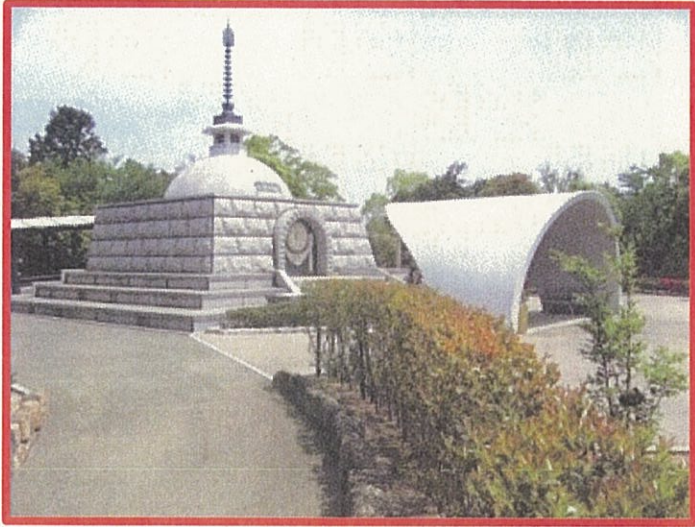
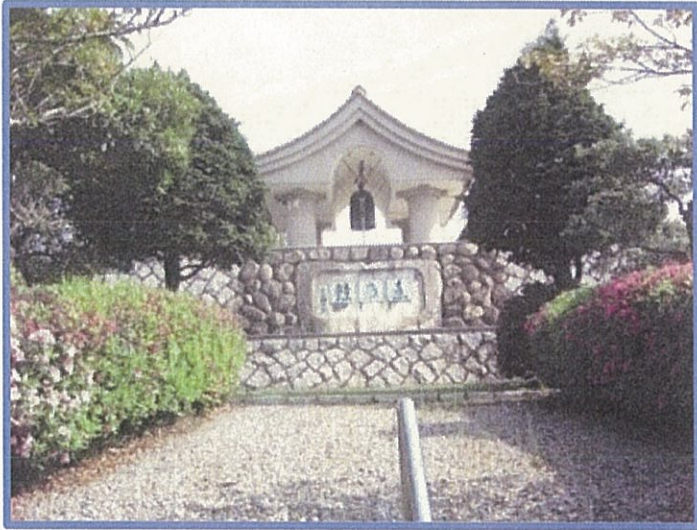
No.	具体的な施策	関係団体	取り組み状況	今後の方針
		ソーシャルワーカー協会	・10月28日(日)岡山国際交流センターにて、岡山市ハンセン病療養所入所者等社会復帰支援員活動報告会開催。(講演・シンポジウム) ・11月17日(土)岡山コンベンションセンターにて、第46回中国地区医療社会事業大会・岡山開催。(特別報告、パネル展示) ・10月31日(水)岡山県ハンセン病療養所入所者等社会復帰支援員活動記録誌「10年のあゆみ」をとしてこれから」を発行	今後も機会を捉え、講演会等での啓発活動を行なっていく。
		ゆいの会	光明園と愛生園で、1年毎にハンセンボランティア養成講座を開催している。今年、第11回ボランティア養成講座を、6月9日から6月30日までの間、全4回で開催した。受講生は26名、修了者17名、ゆいの会登録者11名。	
7	福祉体験が可能な施設づくり	岡山県 長島愛生園 医労連	現在は、センター地区にボランティアも含め社会体験活動を受け入れられている。 人権学習の場としてボランティアが宿泊できるような施設の建設を要請する。	園等の要請があれば、必要な対応を検討。 研修・宿泊施設の充実・整備を要請する。 国に要望する。
8	自然体験・社会体験活動の推進	岡山県 長島愛生園	現在は、センター地区にボランティアも含め社会体験活動を受け入れられている。	今後、園等の要請があれば、必要な対応を検討。 新良田地区等にミニキャンプ場等の整備を行い、自然体験・社会体験活動が可能な施設の整備を行う。
9	歴史的建造物のガイドと保存	岡山県 長島愛生園 医労連 ゆいの会	・登録有形文化財の登録について 県文化財課に確認。 瀬戸内市に対して登録手続きを進めるよう依頼済み。 ・歴史回廊構想(案)の航空写真を、平成23年10月13日に本省で説明・提示した。 ・歴史的建造物保存申請のための小委員会を平成24年12月26日に立ち上げた。 歴史館の人員増と拡充 歴史館運営委員として、歴史館を中心に、園内の歴史回廊のガイドボランティアを行っている。最近では、土日のみではなく、平日にも学芸員とともに、無償ボランティアとして対応している。	引き続き、文化財課において対応。 ・予算措置は平成25年度以降で、作業部会の進捗状況による。併せて、学芸員の増員を要請。 ・今後「歴史回廊」と「世界遺産」の保存申請に向けて検討と活動を行う。 公益財団法人日本科学技術振興財団に要請する。
10	長島愛生園歴史を情報発信	岡山県 長島愛生園 ゆいの会	県HPにて歴史館にリンク 歴史館の文献資料約700点をデータベース化し、ハンセン病問題の風化を防ぎ、後世に伝えていくために7月よりインターネットで公開した。 歴史館運営委員として、歴史館を中心に、園内の歴史回廊のガイドボランティアを行っている。最近では、土日のみでなく、平日にも学芸員とともに、無償ボランティアとして対応している。	今後、園等の要請があれば、必要な対応を検討。 歴史館の文献資料の追加と、長島愛生園HPのリニューアルによる、情報発信の推進を行う。

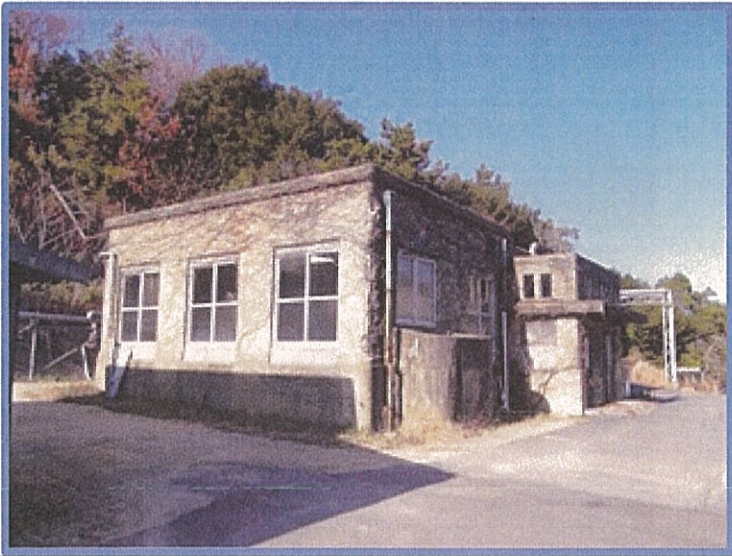
長島愛生園 歴史的建造物保存申請一覧

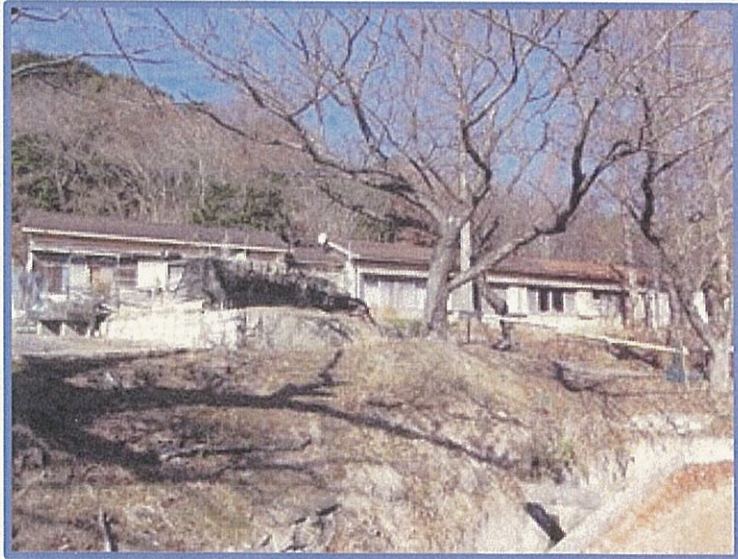
番号	名称	建造年月日	位置づけ
1	歴史館(旧事務本館)	1930(昭和5)11月	歴史回廊・歴史的建造物
2	収容棧橋(旧患者収容棧橋)	1935(昭和10)年	歴史回廊・歴史的建造物
3	収容所(回春寮)	1930(昭和5)年11月	歴史回廊・歴史的建造物
4	監房跡	1930(昭和5)年11月	歴史回廊・歴史的建造物
5	納骨堂	2002(平成14)年	歴史回廊・歴史的建造物
6	恵の鐘	1935(昭和10)年	歴史的建造物
7	日出浴場	1930(昭和5)年11月	歴史的建造物
8	相愛牛舎	1952(昭和27)年	歴史的建造物
9	神谷書庫	1981(昭和56)年	歴史的建造物
10	邑久高等学校新良田教室女子寮	1955(昭和30)年	歴史的建造物
11	邑久高等学校新良田教室講堂	1955(昭和30)年	歴史的建造物
12	邑久高等学校新良田教室理科室	1955(昭和30)年	歴史的建造物
13	恩賜記念館	1950(昭和25)年	歴史的建造物
14	長島神社	1935(昭和10)年	歴史的建造物
15	文芸協会(旧洗濯場)	1930(昭和5)年11月	歴史的建造物
16	十坪住宅(母の屋)	1932(昭和8)年	歴史的建造物
17	園長官舎	1930(昭和5)年11月	歴史的建造物
18	船越棧橋(旧職員棧橋)	1983(昭和58)年	歴史的建造物
19	浪花道路	1935(昭和10)年	遺構
20	報国農園	戦時中(年代不明)	遺構
21	相愛溜池	1943(昭和18)年	遺構
22	少年農園	戦時中(年代不明)	遺構
23	豚舎跡	1953(昭和28)年	遺構
24	旧少年舎へ続く旧道	戦時中(年代不明)	遺構
25	一朗道	1938(昭和13)年	遺構
26	老人精神センター病棟	1990(平成2)年	保存・転用
27	第一病棟	2000(平成12)年	保存・転用
28	治療センター病棟	1980(昭和55)年	保存・転用
29	南治療棟	1980(昭和55)年	保存・転用
30	管理棟	1996(平成8)年	保存・転用
31	新良田地区寮舎跡地		転用

1	歴史館(旧事務本館)	
	位置づけ	歴史回廊・歴史的建造物
	建造年月日	1930年(昭和5年)12月
		
現状	現在、資料館として使用中。年間約1万人が訪れる。岡山県の近代化遺産へは登録済。内部は改修し、展示室と小規模の収蔵室を設置。平成22年度から学芸員一名が配置。	
要望	建物は現状を維持し、耐震化及びエレベーターなどのバリアフリー化。運営に当たる学芸員と事務員の増員。国の登録有形文化財、国の指定文化財への登録。	
2	収容棧橋(旧患者収容棧橋)	
	位置づけ	歴史回廊・歴史的建造物
	建造年月日	1935年(昭和10)年
		
現状	老朽化のためコンクリートが落下。後に設置した浮き棧橋が景観を損ねている。	
要望	浮き棧橋の撤去と、コンクリートの棧橋の復元。国の登録有形文化財、国の指定文化財への登録。	

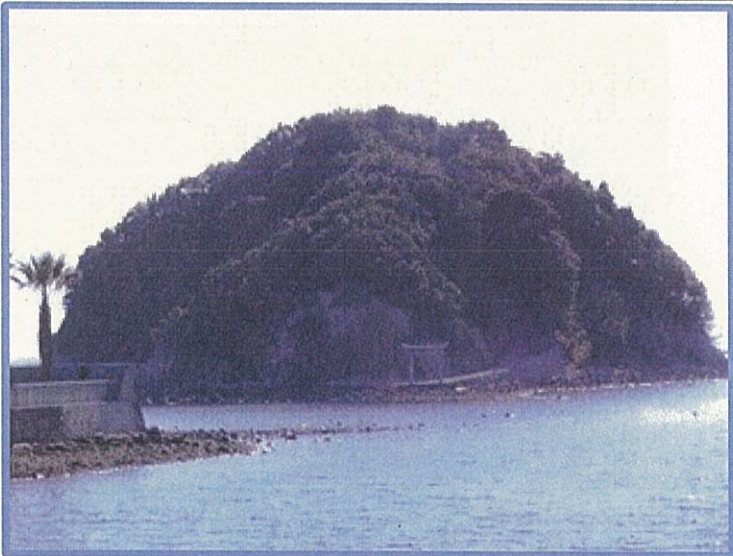
3	収容所(回春寮)	
	位置づけ	歴史回廊・歴史的建造物
	建造年月日	1930年(昭和5年)11月
		
現状	窓やドア、屋上防水など補修が行われているが、ほとんどが開園当時のまま保存されている。	
要望	保存と病室の再現展示のための改修。国の登録有形文化財、国の指定文化財への登録。	
4	監房跡	
	位置づけ	歴史回廊・歴史的建造物
	建造年月日	1930年(昭和5年)11月
		
現状	西側の外壁のみ見て取れるが、土留めのためコンクリートで補強。現在でもわん曲が進行中。	
要望	監房全体の掘り出しと補修。国の登録有形文化財、国の指定文化財への登録。	

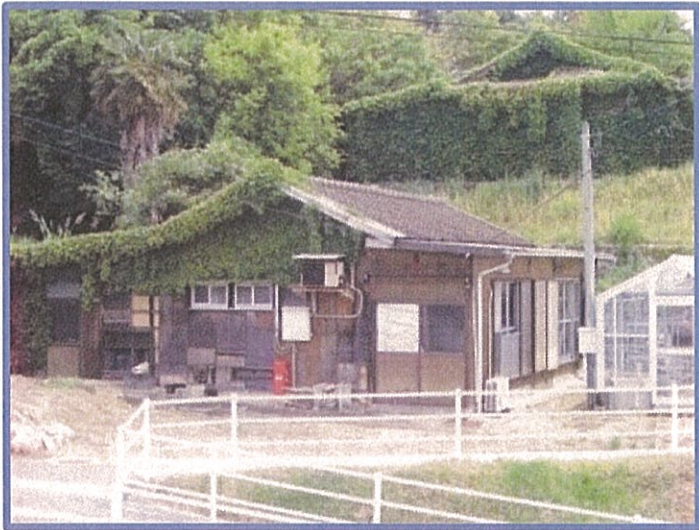
5	納骨堂	
	位置づけ	歴史回廊・歴史的建造物
	建造年月日	2002(平成14)年
		
現状	平成14年に新築した2代目の納骨堂。3560名余りの遺骨が眠る。	
要望	物故者の永代供養と墓地公園の維持管理。国の登録有形文化財、国の指定文化財への登録。	
6	恵の鐘	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1935(昭和10)年
		
現状	鐘楼堂は昭和10年に職員、入所者により造られたもの。鐘は西本願寺より寄贈された3代目。朝晩6時にタイマーで鳴らされている。	
要望	現状を維持しつつ保存。国の登録有形文化財、国の指定文化財への登録。	

7	日出浴場	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1930(昭和5)年11月
		
現状	入所者が使用した浴場跡。現在は倉庫として使用中。	
要望	老朽箇所を補修し、保存のための改修。登録有形文化財への登録。	
8	相愛牛舎	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1952(昭和27)年
		
現状	患者作業により行われた畜牛で使用された牛舎。著しく老朽化が進んでいる。	
要望	老朽箇所を補修し、保存のための改修。	

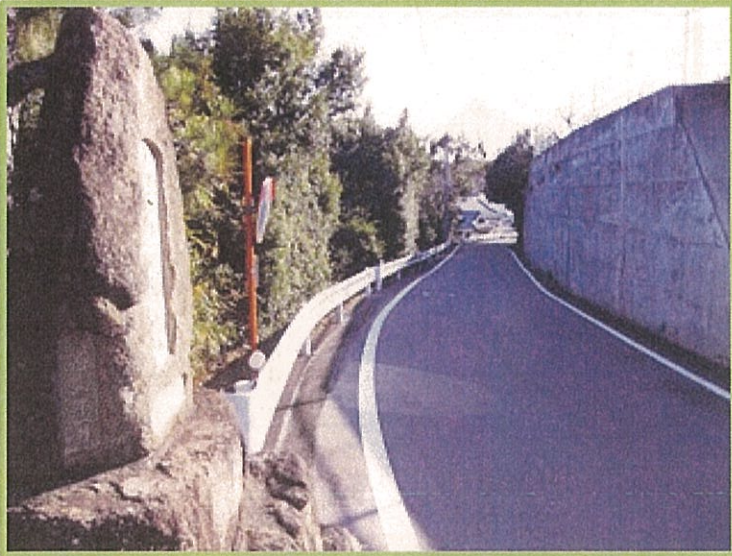
9	神谷書庫	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1981(昭和56)年
		
現状	神谷美恵子医師の遺金によって建てられた書庫。ハンセン病関連書籍を所蔵。	
要望	現状を維持のうえ保存。	
10	邑久高等学校新良田教室女子寮	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1955(昭和30)年
		
現状	全国の療養所のうち唯一設置された高等学校の女子寮。外部も老朽化。現在入所者のアトリエとして使用中。	
要望	老朽箇所を補修し、保存と改修。居室を再現展示。	

11	邑久高等学校新良田教室講堂	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1955(昭和30)年
		
現状	全国の療養所のうち唯一設置された高等学校の講堂。 現在は入所者がレクリエーションで使用するも老朽化が進む。	
要望	老朽箇所を補修し、保存と改修。講義室として使用。	
12	邑久高等学校新良田教室理科室	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1955(昭和30)年
		
現状	全国の療養所のうち唯一設置された高等学校の理科室。 床が腐って抜けている。外部も老朽化。	
要望	老朽箇所を補修し、保存と改修。教室を再現展示。	

13	恩賜記念館	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1950(昭和25)年
		
現状	皇室より建築資金を賜り、患者作業で建築。表のタイルも愛生園内で焼かれた愛生焼きで装飾されている。内部は改装され、各種資料の保管を行なっているが保管状況は極めて劣悪。	
要望	現状を維持しつつ保存。国の登録有形文化財への登録。	
14	長島神社	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1935(昭和10)年
		
現状	入所者の手により作られた神社。干潮時のみ参拝できる。一部破損している。	
要望	老朽箇所を補修し、保存のための改修。国の登録有形文化財への登録。	

15	文芸協会(旧洗濯場)	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1930(昭和5)年11月
		
現状	開園時に建築された洗濯場。一部改修している。現在は書庫として使用中。	
要望	老朽箇所を補修し、保存のための改修。	
16	十坪住宅(母の屋)	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1932(昭和8)年
		
現状	十坪住宅運動により患者作業により建てられた入所者の住居。他にも4棟残る。建物により状況はまちまちだが、老朽化が進み、後に改修しているものが多い。	
要望	復元ののち、保存。状態の良い一棟を歴史回廊地区へ移築。国の登録有形文化財への登録。	

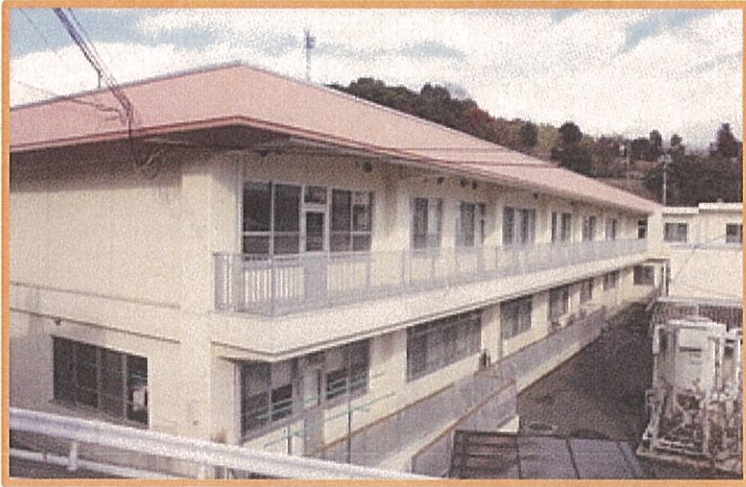
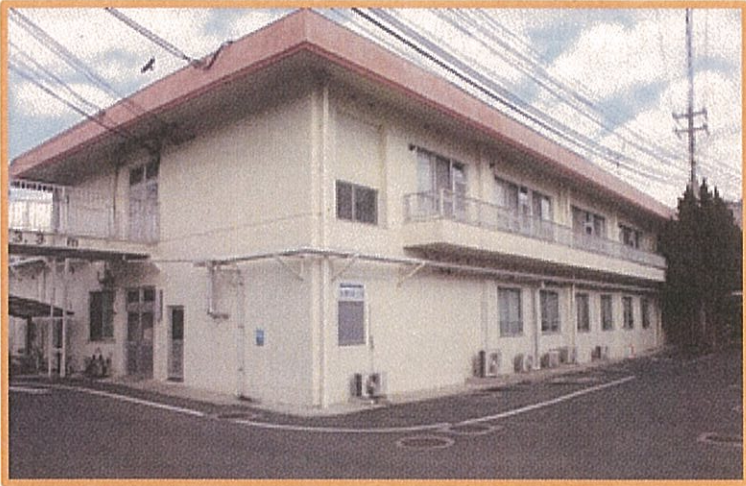
17	園長官舎	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1930(昭和5)年11月
		
現状	勅任官官舎として建築。老朽化が著しく破損が進行している。	
要望	現状を維持しつつ保存。国の登録有形文化財への登録。国の指定文化財への登録。	
18	船越棧橋(旧職員棧橋)	
	位置づけ	歴史的建造物
	建造年月日	1983(昭和58)年
		
現状	開園当初より愛生園の玄関。現在は浮棧橋となっている。園船を係留しており、職員の通勤でも使用中。	
要望	現状を維持のうえ保存。	

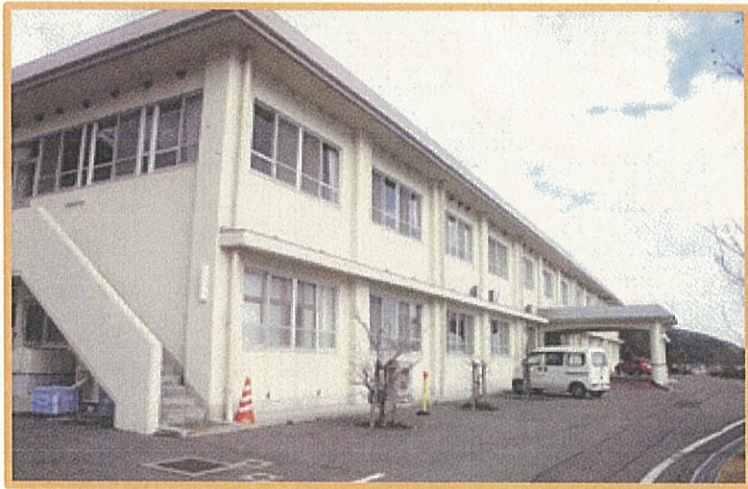
19	浪花道路	
	位置づけ	遺構
	建造年月日	1935(昭和10)年
		
現状	外島保養院入所者の奉仕により完成した道路。現在はアスファルト舗装されている。完成記念の石碑がある。	
要望	現状を維持のうえ保存。	
20	報国農園	
	位置づけ	遺構
	建造年月日	戦時中(年代不明)
		
現状	患者作業で食糧難の時代に造成した農園。現在は殆どが山に帰している。	
要望	周囲の草刈り。遊歩道、案内板の整備。	

21	相愛溜池	
	位置づけ	遺構
	建造年月日	1943(昭和18)年
		
現状	患者作業で造成した溜池。水路も引かれている。周辺にも入所者が造った石組みなどが点在。	
要望	周囲の草刈りの遊歩道、案内板の整備。	
22	少年農園	
	位置づけ	遺構
	建造年月日	戦時中(年代不明)
		
現状	子供たちに割り振られた農園。段々畑となっており、現在は草が生い茂っている。	
要望	周囲の草刈り。遊歩道、案内板の整備。	

23	豚舎跡	
	位置づけ	遺構
	建造年月日	1953(昭和28)年
		
現状	患者作業で養豚が行われていた。現在、建造物は残っていない。	
要望	周囲の草刈り。遊歩道、案内板の整備。	
24	旧少年舎へ続く旧道	
	位置づけ	遺構
	建造年月日	戦前(年代不明)
		
現状	一朗道が出来る以前に使用されていた道路跡。一朗道より目視できる。	
要望	現状を維持のうえ保存。	

25	一朗道	
	位置づけ	遺構
	建造年月日	1938(昭和13)年
		
現状	入所者により切り開かれた道路。現在はアスファルト舗装されている。完成記念の石碑がある。	
要望	現状を維持のうえ保存。	
26	老人精神センター病棟	
	位置づけ	保存・転用
	建造年月日	1990(平成2)年
		
現状	ハンセン病による視力障害・知覚障害・四肢の機能障害などに加えて高齢化による聴力障害や認知障害を伴った入所者が入院している。	
要望	保存のうえ、人権学習のための研修・宿泊施設に改修。	

27	第一病棟	
	位置づけ	保存・転用
	建造年月日	2000(平成12)年
		
現状	外科、整形外科、眼科、耳鼻科、泌尿器科等の外科系の患者が入院している。	
要望	保存のうえ、人権学習のための宿泊棟に改修。	
28	治療センター病棟	
	位置づけ	保存・転用
	建造年月日	1980(昭和55)年
		
現状	循環器疾患・慢性腎不全・一般内科急性期患者が入院している。	
要望	保存のうえ、人権学習のための宿泊棟に改修。	

29	南治療棟	
	位置づけ	保存・転用
	建造年月日	1980(昭和55)年
		
現状	カルテ庫、外来、看護師長室が設置されている。	
要望	保存のうえ、人権学習のための宿泊棟に改修。	
30	管理棟	
	位置づけ	保存・転用
	建造年月日	1996(平成8)年
		
現状	事務所、会議室、園長室などが設置されている。	
要望	保存のうえ、歴史館第2展示室及び収蔵庫として改修。	

31	新良田地区寮舎跡地	
	位置づけ	転用
	建造年月日	1998(平成10)
		
現状	一般舎取り壊し後、遊休地となっている。	
要望	ミニキャンプ場として整備。	

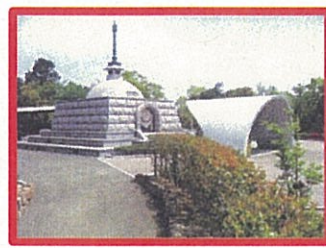
国立療養所長島愛生園 歴史的建造物 航空写真



国立療養所長島愛生園 歴史的建造物配置図



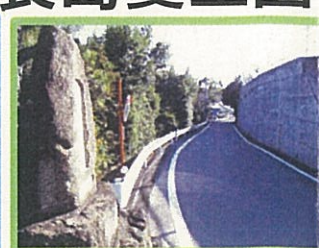
4 監房跡



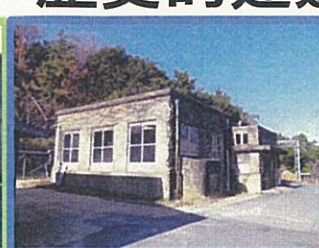
5 納骨堂



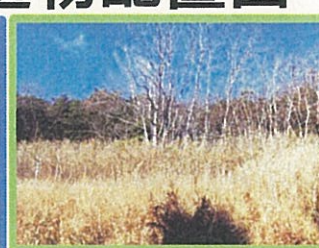
6 恵の鐘



19 浪花道路



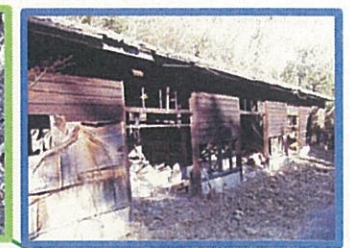
7 日出浴場



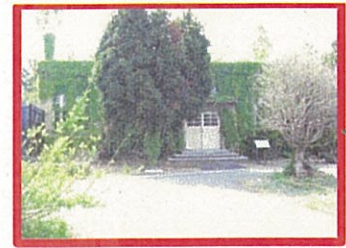
20 報国農園



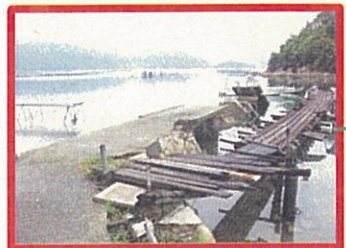
21 相愛溜池



8 相愛牛舎



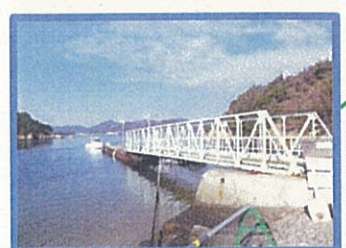
3 収容所(回春寮)



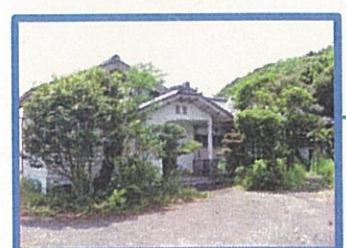
2 收容棧橋



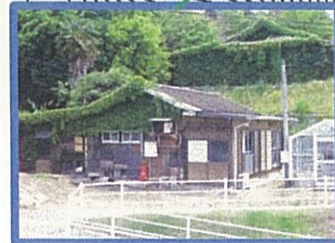
1 歴史館(旧事務本館)



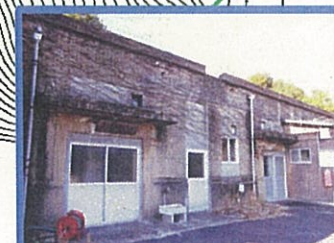
18 船越棧橋



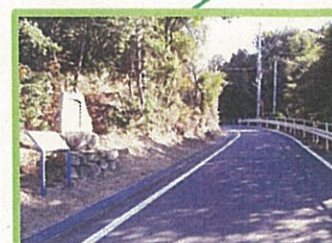
17 園長宿舎



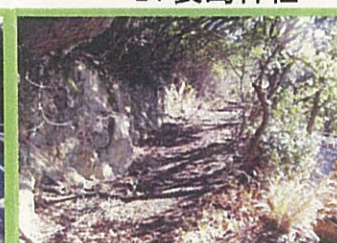
16 母の家(十坪住宅)



15 文芸協会(旧洗濯場)



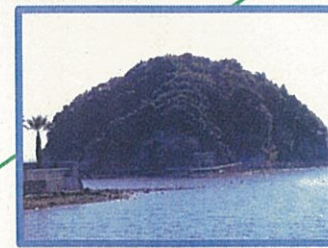
25 一朗道



24 少年舎へ続く旧道



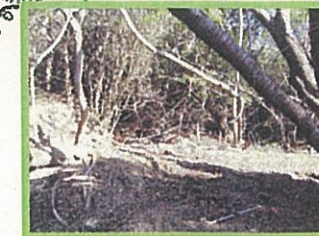
13 恩賜記念館



14 長島神社



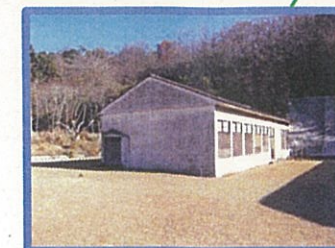
14 長島神社



22 少年農園



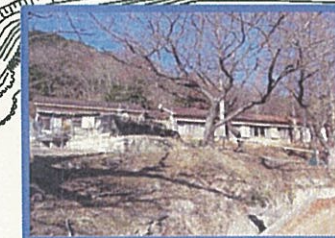
11 新良田教室講堂



12 新良田教室理科室



23 豚舎跡



10 新良田教室女子寮

